

支配人代行の務め

— 千斗いすずの淫乱調教日誌 —

成年向
FOR ADULT ONLY

H-B



支配人代行の務め

— 千斗いすずの淫乱調教日誌 —



支配人代行の務め

— 千斗いすずの淫乱調教日誌 —

甘城ブリリアントパークへ
ようこそ——っ!!

甘城企画からパーク売却の
要求があつてから一ヶ月。
当時はキャストの誰もが
諦めていた。

しかし現支配人代行に
変わつてからはパークの
経営は持ち直しつつあり
動員数も着実に増加して
いる

個室

神託があつた
可児江君には断られて
しまつたが

このまま行けば七月末の
甘城企画の要求にも
応じられる可能性が出
てきた。
ただ一つの懸念を除いて

…失礼します、
支配人代行。

あつ…

んんっ



おいおい、支配人代行は君だろっ？ 干渉いすず君。

あっ♡
ああっ♡

だめっ♡

はっ…♡
ああっ♡

私はあくまでも、このパーク経営の裏方だからね。

それはそうと。外に音が漏れてしまっから早く閉めてくれないか？

そっ…、今はこの男がパークの実権を握っている。表向きはまだ私が支配人代行となっているが



ああっ♡
あんっ♡

あっ♡
んんっ♡
あんっ♡

そもそも、この男を認識できているのは実は私だけで、他のキャストには知られていない……

今、相手をさせられているアーシエは、一時的に魔法を解除されて認識できる状態なだけなのだ。

この男は、魔法の国の住人では無いが魔法使いとして日本に居座っていた

あつ♡

はあつ♡

あつ♡

あつ♡

この男の魔法は単純に「自分を認識させない」というものだ。

経年手腕そのものに魔法を使っているわけでは無い。だから、この現状はこの男の実力による物といえる。

んんっ!!いいぞ、アシーエ君!! 私もそろそろイキそうだ。このまま中に出すぞ!!

えっ!! まっ 待つてんだぞ!!

んんっ!! 待て!! 中はダメです!!

あつ!!

あゝあゝあゝあゝ

あゝあゝあゝあゝ

しっかり受け止めたまえっ!!



あつ...♡
はあつ...♡

さて、いまず支配人
代行。今日の報告を
聞こうか？

で...でてるっ...
ほんとに...ああっ♡

現時点でのパークの
繁栄はこの男の手腕に
よる物だ。

だから、この男の
経営手腕は認める...
認めるのだが

だ...ダメって
いっ♡いったの
にいっ♡

今日の
エレメンタリオの
出し物が好評のようで
ゲストの要望が...

アーシエの記憶も
また消され
通常業務へ
戻されるだろう。

おいおい、そっち
じゃないだろ、
君の仕事は。

そんな表向きの
報告では無いだろう？

っ!!

その方がまた幸せ
なのかもしれない...
だが私は



早くし給え、
いまず君。君にとっても
その方が良いはずだ。
違つかね？

わ...わがっ♡らわ...

支配人代行という
お飾りの立場ではなく、
今の私の本当の立場は

——この男の奴隷だ…



これだ…こんなところか…

うむ、ちゃんとつけたまま業務をこなしていたようだね
感心感心。

この一日で何回イッたのか
後でちゃんと報告し給えよ
いまず支配人代行。



丸一日ハイブをつけたままの成果が
良く出ているようだね



さてその下着の中身が
どうなっているか
じっくり確かめないかね

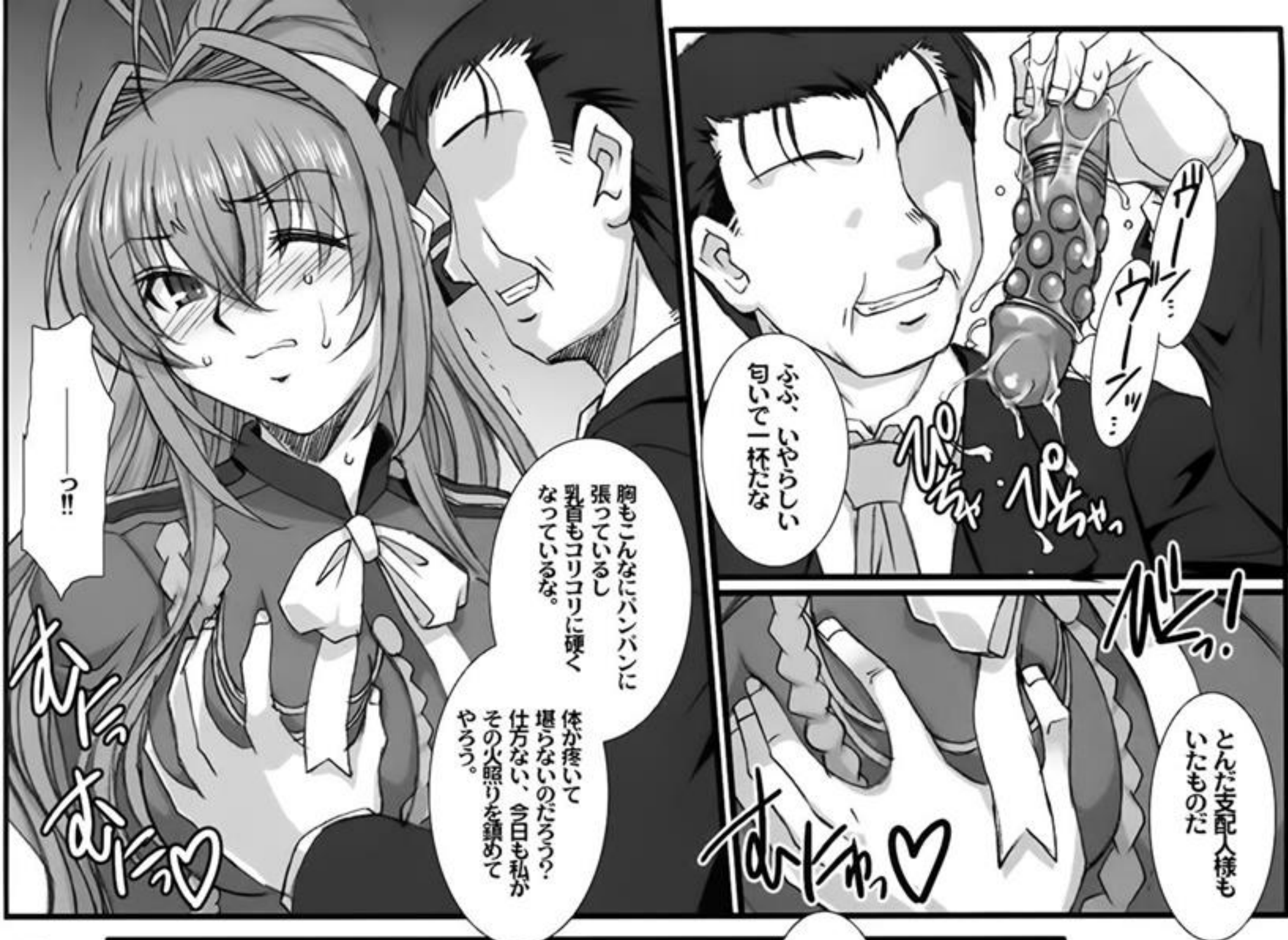


おやおや、ビチヨビチヨ
じゃないか。
そんな姿ですまし顔で

パーク巡回とはね。
流石職務に忠実な
支配人代行様だ



もちろん、私がこの事を他の
キャストに話さずおくことも
このように行儀は正めねばなら
ないの男自身も半殺しの目
遣うだろう…。
しかし、それでは





このパークの生徒と噂は
今やこの男に握られている。
私はどんなことをされても
逆らえない

あっ♡ あなたが私を
こんな風にしたんでしょう!!
私が逆らえないことを
いじめる!!

しかも自分の
支配人代行がこれほどの
淫乱とは、いやはや。



いやいや私はただ
対価を頂いている
だけだよ

このパークを助ける
ための対価をね。
違つかね、いすず君。

んっ!!

そ...それは
きゅん♡



そもそもこの話は
君からの願いであり
私はそれを受諾
したに過ぎない

君のパークと
ラティファ姫を救いたい
という純粋な想いに
感銘を受けてね。

その報酬として
君の身一つで受けたんだ。

感謝されこそすれ
非難される云われは
無いはずだがねえ

—そうね

でも他のキャストには
手を出さないで、とも
言っただけだよ

何、心配要らんよ、
いつもとおり皆の記憶は
用が済んだら消してある

そ…その…
問題じゃ…

あっ♡

ちっ♡ちがっ
そんな事
ありえないっ…♡

ほう、そういふならば自分で
確かめてみるかね
その言葉と肉体とどっちが
正直か

えっ!?!
ま…まさか

では嫉妬してるのかね
他の女に。この私を
取られたくないこと

まあ君の身体はすでに
私無しては居られなく
なってるだろうしね

だ…ダメよっ!!中には
膣内には射精さないでっ



残念だがその申し出は受けられんね！

ああ……

あ……？
あ……♡

はぁ……♡♡♡♡
うん……♡♡♡♡
また……♡♡♡♡

……♡♡♡♡
……♡♡♡♡
……♡♡♡♡

い……嫌なの……
こんな男に染められたくないのに……どうして……

ほり見る身体がすっかりとろけてしまっているじゃ無いか

全く仕方の無い娘だな。私も、まだ満足できんし、では、一回戦といくか。





仕事が終わった後の風呂というのは格別だねえ

それも、恋人と一緒に言つのは更に心地よい物だ
そうは思わんか？

誰か恋人よ、冗談じゃないわ。パーク再建が無ければ死んでも断っているわ

こんなケス男と大切な湯船につかるなんて…

……

あーん
あーん



や…やめい…

やっほいっほい
だ…だめ…

何を言更。君もそのつもりだったんだろっ？



んっ…

んんっ♡

そんなことだろうと覚悟はしていたけど…
やっぱり、こんなの嫌っ



私の一日の一番の楽しみをどうしてこんな奴と…

そつえば他のキャストから聞いたんだが君はお風呂がとてとても大好きらしいねえ

では大好きなこの場所で大好きなSEXを堪能しようじゃ無いか



んんっ♡



あぁっ♥んんっ♥
すっ…すっすっすっ♥

いっ…いっやあっ♥
あぁっ…だめっだめよ

こんなのっ♥
こんなの嫌なのっ♥

あっ♥あっ

あぁあ♥

君は本当に口だけの支配人だねえ。

そんな事だからパークをここまで追い込んでしまったんだろう？

あっ♡ちっ♡ちっ♡

あーっ♡♡♡あっ♡♡
そっそれはっ♡あっ♡

ちっ♡ちっ♡わっ♡
ちがっの♡おおおっ♡

そ…それはっ♡

何が違うのかわねり事実私が経営を代わっていなかったらすでにパーク売却は決定事項だったじゃないか？

こっこんな男のモノで喜んでしまっ何てっ♡
子宮の奥っ♡
きぐるっ♡きぐるのおおおっ♡

まあ、経営は私に任せて、君はその体で私をいか喜ばせるかを磨きたまえ

それが今の君の仕事だよ千斗いすず支配人代行殿

7月10日 売去期限まで残り21日

総合案内



こんなところでたなんて...
 バレたらそれこそパークが
 潰れるのよ...

いくら何でもそんな
 要求に応じられるわけ...



ここでするのですって!!
 何をバカなこと言ってるの!!

なつ...!!



いやいや、
 無理ごとは言わんよ。
 私も強制はしない



そんなこと言われたら、
 飲むしかないじゃない...

— わかったわ...



...そんな卑劣な...!!
 私に選択権なんて
 無いのに...

だがパークの集客人数は
 規定には達していない
 ようだし...

ここで君が相手するか
 どうかで私の残り期間の
 経営にも大きく影響する
 だろうねえ



すみません!!



如何されましたお客様

ちょっとおつちのそとへはぐれちゃって

ほんの少し目を離した隙にいなくなつて

色々探したんですがその...あの...

あせ..

あせ

大丈夫です落ち着いてください



なるほど、ではその付近ではぐれた訳ですね?

あせ..

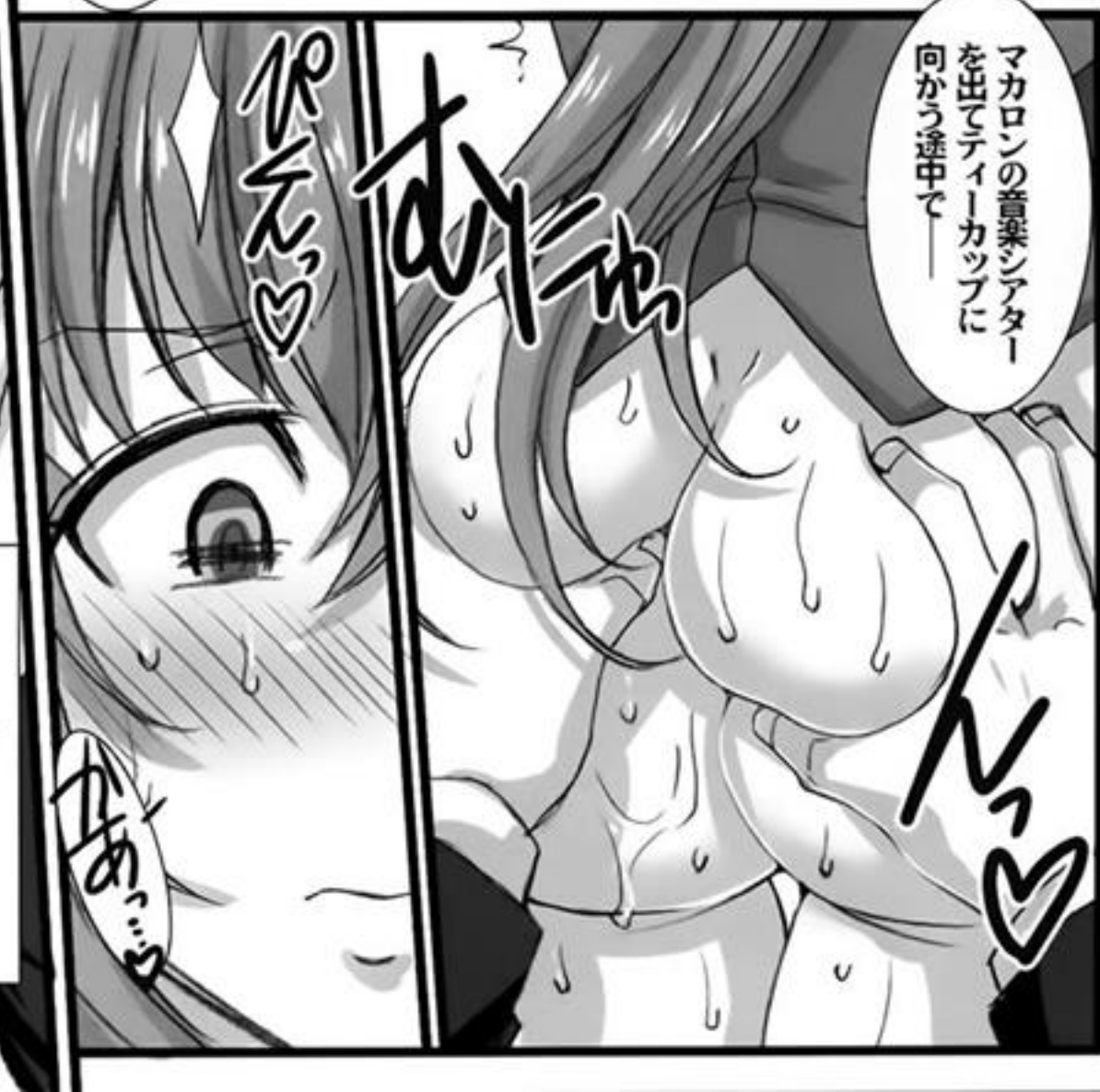
ううん...あせ...あせ...あせ...



ではまずお子さんの特徴と見失った場所を教えてくださいいただけますか

あ、はい

歳は五歳ぐらいの男の子なんですが



マカロンの音楽シアターを出てティーカップに向かう途中で

あせ..

あせ..



アア...

了解しました、では
迷子センターに
至急問い合わせ
いたしますので

しばらくお待ち...
頂けますでしょうか？

え？

ゲストの...こんな
目の前ではしたくないことを
されるなんて !!

まじっ♡

な、何かお尻に堅い物が
当たって...う、うそでしょ
まちなみ



アア...

ムンムン♡♡



ブルブル...

ブルブル...

ムンムン♡♡

ムンムン♡♡

ムンムン♡♡

「あの…
大丈夫ですか？」

「ん…っ、いえ…
何でもありません」

「失礼しました
お客様…」

「こ…このっ
いい加減に…
—っ、ちよ…
ま…つて…また—」

「んんん!!」

「…さびが何も出来ない
のを…この…
好き勝手な事を—っ!!」

「そ、そんなにめんどめんど
にかき回してっ—
んんん—っ♡」

「改めて迷子センターに
問い合わせますので
少々お待ちくださいませ

「だ…ため。早く終わらせないと…
この状況のままではゲストの
前なのに…まっ♡
また声が出てしまう…」

「ハイ！こちら迷子
センターだっぴ!!
あー、いすずちゃん!!」

「も…も…も…
「さびが迷子センターに
問い合わせが
一件着たのだけよ…」

「そっ…そんなに乱暴に
ゴリゴリしてしないでっ♡
ああっ♡だ、だめええっ♡」

了解だっ!!
今すぐ確認するっ!!

て…早くお願いするわ
ほ…本当に、は…早く…

た…耐えないと…。今、
ここでこんな事が
ゲストに知れたら…すっ
全てが終わっ、おっ
終わってしまうのにつ…

んんん♥でっ♥でもっ
おっ♥お尻もあそこも
こっ…こんなに感じて
しまうなんてっ

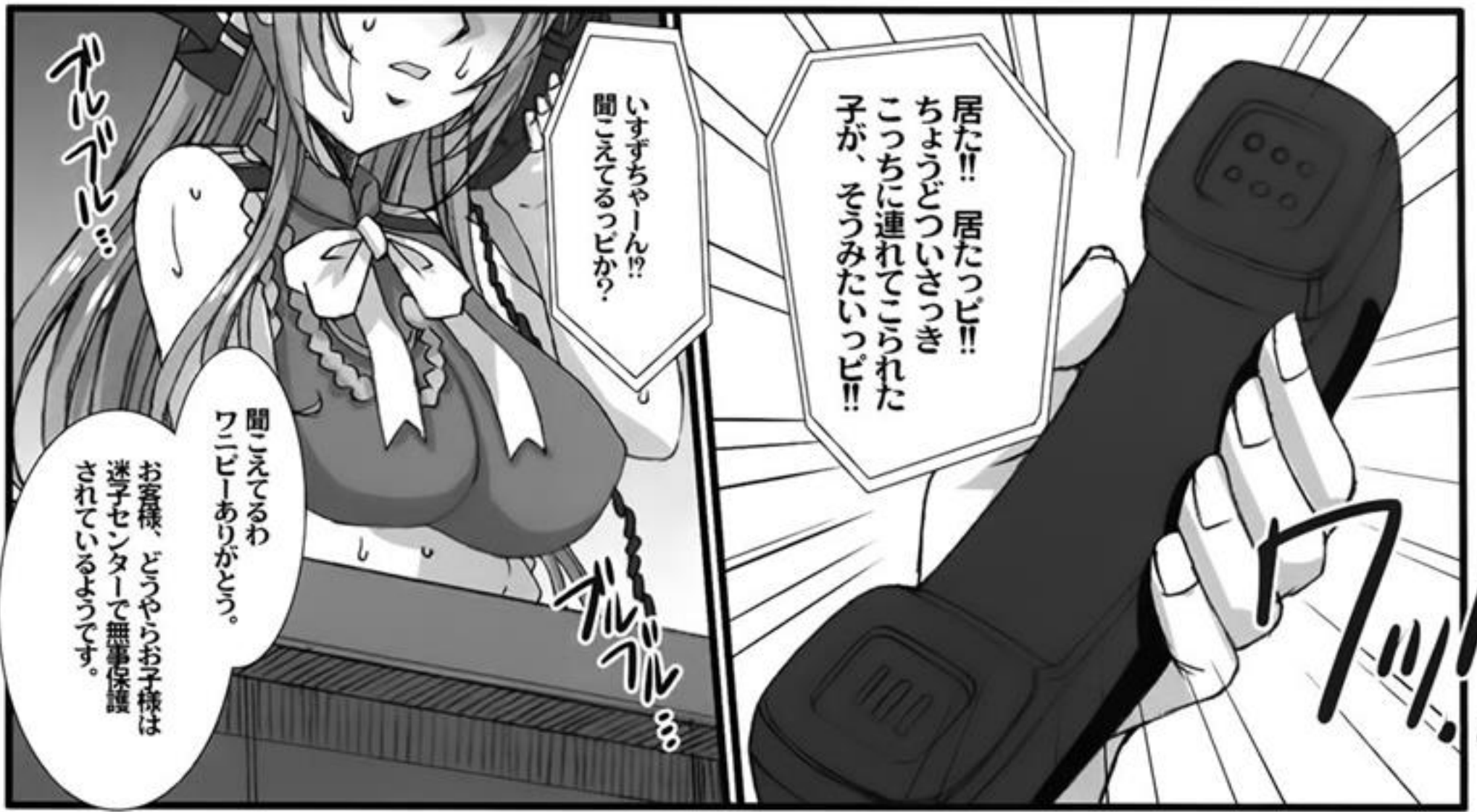
任せるっ!!
あ、椎菜ちゃんそっちに
迷子の男の子が、
あ、いないらんど、じゃあ

美衣乃ちゃんとは
来てないっ!!
じゃあ次は

ま…またなの?
こ…これ以上続けられたら
…ああっ♥

も…もう…無理…
だめ…我慢…
でき…ないっ…
ゲ…ゲストの前なのに…

い…イク



居た!! 居たっ!!
ちよどついきつき
こつちに連れてこられた
子が、そつみたいっ!!

いすぢちゃん!!
聞てるっ!!

聞ててるわ
ワニビーありがどう。

お客様、どうやらお客様は
迷子センターで無事保護
されているようです。



本当ですか
よかつたっ

当ハークのキャストが
お相手していますが

なるべくお早めにお迎えに
行ってあげた方が
よろしいかと思ひます。

迷子センターの場所は
おわかりになりますか?



はい、大丈夫です。

助かりました
早速向かつてみます!!

ど...どうも
ご利用...♡ありがどう
っ...♡

ま...

...だ...♡



どうやら腰が抜けて
しまっているようだが
そんなに気持ちよかった
かね、ん？

はぁっ♡
はぁっ♡

——…この男はどい…
好きが原因で…
………



あ…あなたがイカせたくせに…
だ、ダメ…力が入らない

んっ…
んっ…

おやおや、本当にゲストの
前で絶頂したのかね。
これはまた、随分とはしたない
キャストが居た物だねえ。

はぁっ♡

はぁっ♡

んっ…

んっ…

んっ…



………
っ!?

だが、君一人だけ
気持ちよくなっている
のは不公平だな

はぁっ♡

んっ…



——…そんなモノ啜えたくなんて
ないっ…
でも、ここで断ったらこの男は…



そり、君の大好きな
ものだ。毎日のように
啜えてるだろう？

まあ、君がどうしても
というなら、ここで
しゃぶっても構わんが、
どうするかねいます君。



わん...

わん...

んっ♡

んっ♡
んっ♡
んっ♡

んっ♡
んっ♡
んっ♡
んっ♡
んっ♡

んっ♡

なんて匂い...
この男また洗って
ないのね!!

本当に酷い匂い...
クワクワする...
クワクワするのに...

おおっ、これはまた
いつもと違って激しく
吸い付いてくるねえ

どっやらかなり興奮
しているようだが、
ここであるのが気に
入ったのかな?

んっ♡
んっ♡
んっ♡

んっ♡

んっ♡
んっ♡

んっ♡
んっ♡
んっ♡
んっ♡
んっ♡

んっ♡
んっ♡
んっ♡

んっ♡
んっ♡

ち...違うわ...こんな、
こんな所で興奮なんて
するわけじゃないでしょう...

は、早くこんな事
終わらせたいだけに
決まってるじゃない...

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡
んっ♡
んっ♡

本当に美味そうに
しゃぶるねえ

だ…♥だから違う…
違うはず…なのに
どうしてこんなに
激しく…ノドの奥まで

おおっ!!これはまた
素晴らしいっ!!カリ首が
ノド奥に引っかけたって!!

くっ♥口の中いっっぱいこ
匂いが溢れかえってっ
はあああ♥すっ♥
すっ♥いっ♥いっ♥

んんっ!!いかんっ
我慢できんっ一回中で
射精すぞっ受け取りたまえっ

あ…ためっりき
出されたらっ…。あっ!!
うそっ…♥イクッ♥♥

んぬっ!!のどまんこで
たっぷり搾り取って
くるじゃないかっ

いっ…いやあああっ♥
こっ…こんなのでイキたく
イキたくないのになっ♥
イクッ♥イクっうっうっ♥

おっといかん、こぼしてしまったな

は...♡

は...♡

おの...奥くっついて...
くっついて口をこぼして...
おの...奥くっついて...
くっついて口をこぼして...

どうして...私、もう
これに逆らえない...

は...♡

そうそう目一杯
拵けたまえ一番奥が
見えるくらいな。

そうじゃないと一番奥
までかち込めないからな

な...何を言っているの
貴男に逆らえないのを
知っていて要求しているんかい...

かあ...♡

ああ...奥がスースー
するっ...恥ずかしくて
気が狂いそうよ...

フフ...パークの支配人代行が
真っ昼間からこんな痴態を
さらしているとは。ゲストは考えも
しないだろうな

おの...奥くっついて...

おの...奥くっついて...

おの...奥くっついて...

しかし、いやらしい
マンコだね、私の
逸物を心待ちにして
たまらない感じじゃ
無いか

ムムムム...

こんな事早く
終わらせて
ほしい...

んほお...

べ...別に心待ちになんか
してないわ...
本当に早く済ませたい
だけよ...こんな...

ああ...ムムムム...
な...なんでこんなに感じて
るのっ...それ
いつもより太いっ...

な...なにっなにっこれっ
い...いっ...ムムムム...

っ!! 私なんて声を…。
ここはパークのと真ん中
なのよ!!

おや、声を出さないのかね、
まあ、こんな事が世間に
しれたら目撃りは
破壊たろうからねえ

あ…当たり前のことをっ!!
だ…だめっ…♡そこ弱いっ
そこばかり突くのやめてええ
ええっっ♡♡♡

しかし我慢するの
も
良くないと思っかね
君も大声を出して
イキたいんだろう?

そっ♡そんなのためっ♡
絶対ダメえっ!!
ああっ♡でも、でもっ凄く
感じてっ♡♡♡♡♡



だ…だ…だ…
やめてっ♡
これ以上おられるん…

仕方ないな、君の主として
私が手助けしてあげよう
君が素直になるための
手伝いをね

はあああああああ
だめっ♡ダメなのっ♡
パークの中なのっ♡
守らないといけないのっ♡
いけないのっ♡

いやっ♡いやあああ
イキたくないっ!!
イキたくないの
イキたくないのよお
おっ♡♡♡

だ…だ…だ…
やめてっ♡
これ以上おられるん…

♡♡

私はこのパークを
キャストの皆を…姫様を
守らないといけないのに
こんな、こんな事で…

あ…

あめあめあめあめあめ
♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

こっ♡これっ♡
すっすっすっの♡
すっすっのきてるっ♡
牡サーメン濃いっ
一杯注がれてるっ

だめだめだめだめ
だめだめっ
だめええええっ♡

ふうっ…!!
いやあ、今までの中で
一番良いマンコの
絞まり具合だった

君もいいままでの中で
一番の絶頂を味わって
くれたようで
なによりだよ。

しかし本当に最後まで
よく声を出さずに
我慢できた物だ

正直、感服するよ
千斗いすず君

何を……言っているの…
この男は…う、私がこんなに
頑張っているのにこの男は
何を…あぁっ…♡
もう、意識が

そんな君(いい)じゃを
教えてあげよう

甘城フリリアントパークは、
当初の予定通り
甘城企画に売却する

なに、心配は要らん。
君とラティファ嬢は
私がい取ることで話が
ついている。

他のキャストに関しては
どうなるか知らんがね
……とどうやら聞こえて
おらんか。まあその方
がいいかもな

君達が消滅するその日まで
たっぷりと可愛がって
あげよう、クククっ……。

支配人代行の務め

— 千斗いすずの淫乱調教日誌 —

奥付：「支配人代行の務め 一千斗いすずの淫乱調教日誌一」

発行：H・B 代表：B-RIVER 初版：2014.12.30

印刷：サンライズパズリケーション(株)

メール：hb_river@yahoo.co.jp HP：<http://www.palette-e.com/>

*本作品の無断転載（ネット含む）、及び未成年の閲覧、購入を固く禁じます